

「大上地区社協」ニュース



■No.107 ■平成30年5月発行 ■大上地区社会福祉協議会 ■発行責任者 今井 和治

大上地区社協の平成30年度総会が開催される 本年度は3つの大きな柱で活動

1. ご近所づくりと見守り活動
2. 学校・PTA・育成会との連携で
児童見守り活動
3. 生活支援体制整備事業
“ささえあい井戸端会議”への参画



挨拶する
今井会長



来賓の

古塩市長、原田社協副会長、綱嶋県議



大上地区社会福祉協議会の平成30年度総会は、4月22日（日）午前10時から大上自治会館において開催されました。

当日は、会員237名のうち76名の出席のもと、古塩市長を始め多数の来賓を迎えて行われました。

今年度の目玉施策である“ささえあい”について、来賓の方々からも、地域福祉・介護予防・元気な高齢者づくりなど地域に期待する旨の挨拶が聞かれました。29年度の各種報告と30年度活動計画案、予算案そして理事の増員を含め全ての議題が承認されました。



76名の会員が出席した総会の会場

支え合い井戸端会議 大上「お茶飲み会」にお出かけください

大上地区社協会員の皆さん今、地域づくりによる介護予防推進事業が推進されていますがご存知でしょうか。これは、少子高齢化が進み財政が困窮してしまうためサービスは専門的に、住民は社会参加の場を増やして皆で助け合う、地域生活支援体制を作ろうと言うものです。

それが支え合い井戸端会議です。地域で暮らす人が「今行っている様々な活動の情報を持ち寄り共有化して、更に新しい情報を持つ人がいればその人に協力してもらおう。即ち地域で暮らす人が「今やっている事、今出来る事を無理なく皆で話し合い「できる事」を見つけ「目標」を決め「やりたい人」を集め実施する。住民が主役で皆で協力し自分たちで解決するものです。参加資格は地域に関わる人全員です。団体、事業者、学校、施設等も含まれます。

「支え合い井戸端会議」は自治会、地区社協、民児委員、地域包括支援センターのメンバーなどで立上げています。地域の共通意識、特徴、課題の共有を図るため毎月第3木曜日午後6時30分から自治会館で定期的に行っています。皆様のご参加をお待ちしています。ご支援、ご協力をお願いいたします。

今回は、5月17日(木)
18:30自治会館

“笑いとおしゃべりいっぱい市”を6月10日(日)に開催

秋に開かれていた恒例の“笑いとおしゃべりいっぱい市”は6月10日10時開催に決定しました。各区でそれぞれの模擬店を担当することになっています。開催場所は、深谷大上ふれあいの家と柳川広場です。積極的なご参加をお待ちしています。